

質疑 馬事公苑について、指定管理者云々という話はあったが、どのようになるのか。

答弁 平成二十年度に一般公募を行い、二十一年度から指定管理者制度を導入したいという手順で、協議している。

質疑 現代美術館費が計画時点での説明と比較し、維持管理費等が約三倍に増えているがその要因は。

答弁 通常年においては約五千四百万円程度で経費が推移すると思われ、説明時より約二千七百万円増えている。主な要因は、当初計画からの入場料見込みの減、高校生以下を無料にしたこと、人的経費を充実させているためである。

質疑 太素塚の噴水が機能を果たしていないと見ているが、噴水が出るようにしてはどうか。

答弁 太素塚の噴水は七年ほど前に故障し、噴水の機能を停止している。太素塚は観光スポットでもあるので、総合的に判断しなければならぬことから、経費も調査し、検討してみたいと考える。



オープンした高森山パークゴルフ場

質疑 高森山パークゴルフ場は四月にオープンするが、学校教育や生涯教育の中でどのように市内二ヶ所のパークゴルフ場の利用を考えて計画されているのか。

答弁 二ヶ所にまたがる全国規模の大会を立ち上げ、広範囲の年齢層に開放していきたいと考える。

また、学校教育の場でも体育授業等に活用していただきたい旨発信して、広範囲に活用を図っていきたい。

質疑 市道三本木霊園六日町線の完成年度はいつか。

答弁 当該市道は、平成十六年度に工事着手しており、二十二年度の完成を予定している。

質疑 下水道の汚水事業に八郷・西金崎地区とある

各特別会計・企業会計から

質疑 介護予防事業について説明願いたい。

答弁 十九年度と同様に十和田市元気高齢者支援事業として湯つこで生き生き交流事業、筋力向上の機械を使ったりした簡単な機能向上になる事業を十九年度以上にやりたいと考えている。

質疑 十和田湖畔地区簡易水道整備事業の水源は確保されているか。

答弁 平成十七年度から宇樽部地区の井戸をボーリングし、調査している。十九年度は井戸を施工し、一日約一千三百トンが確保できている。

質疑 水道会計での借換債の効果はどのくらいか。

答弁 平成十九年度からの三年間で水道事業債約二十四億一千万円の借り換えを行い、約六億三千五百万円の利子軽減を見込んでいる。

質疑 下水道の汚水事業に八郷・西金崎地区とある

が、完成予定はいつ頃か。
答弁 二十年度から汚水管の工事に入る予定で、平成二十四年度には全般的な部分は終了する。

質疑 麻酔科医師の常勤医師は二名いるうち一名やめると聞くが、手術等の見通しはどうなっているのか。

答弁 麻酔科医師二名のうち一名は今年(二十年度)残つてくれる。応援体制を組んで今年に關してはかなり手術ができる状況だが、二十一年度においてはまだ不透明なところがある。いろいろな面で麻酔科医師が応援に来てくれるような仕掛けをつくっていく必要が大事であると考えている。



新病院の手術室

討 論

定例会の最終日において平成二十年度一般会計予算に対して討論がありました。(要旨)

反 対

合併以来三年、人口は毎年減り続けており、市周辺部では、高齢者世帯が増え、子供達の声が聞こえなくなりつつある。一方若者は、地元就職を希望しても安定した職場がなく、県外就職へと向かわざるを得ない。政府の新しい自由主義路線等をそのまま住民に押し付ける市政であつてはならないと思う。

特に、市の基幹産業が農業であるというのなら、具体的に元気の出る農業政策を実施すべきであり、中央追随の政策ではなく、市独自の農業政策が求められる。

市の予算は、余りにも土木と建設に偏り過ぎていないか。これが一般的な市民の声である。ぜひ市民が安心と希望が持て

賛 成

るようにしてほしいと思う。

平成十六年度以降の国の三位一体改革による地方交付税の見直しや県の財政改革プランに基づく県補助金の廃止、削減により非常に厳しい財政状況にあるが、十和田市総合計画の基本構想に掲げる基本目標の五つの柱に沿って、十和田湖畔地区統合簡易水道整備事業、西小学校建設事業、産科医不足による妊婦への負担軽減の助成の増額、中心市街地活性化推進事業への支援、市民参画による協働のまちづくりのための施策等を講じている。

このように、本予算案は、集中改革プランに基づき、支出全般を削減し、事務事業の合理化・効率化を図り、健全な財政運営を目指しながら新市まちづくりに向けた多様な施策が盛り込まれており、厳しい財政状況にありながら新市発展のためにバランスのとれた予算であると評価する。